



だより

1・2年版

No.2 : H28.6.22

編集 : SGH 推進室

発行責任者 : 宮崎 栄治

青年海外協力隊員による特別講義がありました！

6月6日(月)、JICA職員4名を本校にお招きし、放課後に特別講義をしていただきました。1・2年生の希望者を対象とし、Aコースでは小堀香奈さんにウガンダでの音楽教育活動について、Bコースでは七條孝司さんにルワンダでの村落開発活動についてお話していただきました。実体験をもとにした講義は、リアリティに溢れ、参加者は真剣な眼差しで講義を聞いていました。

Aコース 小堀香奈さん

(青年海外協力隊/音楽教育/ウガンダ)



講義メモ

□JICA 海外青年協力隊員になるには？

約100種の仕事から選択。書類、実技等の試験、訓練を経て協力隊員として現地に派遣される。

□ウガンダの諸事情

暑いけれど湿気が少なく、石川より過ごしやすい。物価は非常に安い!!バスの時刻表がない!!(一杯になったら出発)給食は毎日同じ。セネネ(バッタ)が人気のおやつ。

□小学校での毎日

*紙で鍵盤を書いて、一緒に歌って授業。様々な教授法を、現地の先生方に指導。

*ピアノを収入に直結させる発想で授業を受ける子供。

=ピアノが弾ける→教会での仕事がある→安定した収入

*授業に日本の「よさこい」を踊ったり、各地でコンサートをして回ることで、子供たちとの親交を深めた。

◆最後に…

ウガンダのあいさつを大切に、助け合いの心がある国民性が本当に素敵。「豊かさ」とは何か?を常に考えていかなければいけないと感じた。

【Aコースの感想より】

発展途上国の子ども達は、豊かな心を持っていることを知ったし、どんな場所でも、生きる希望となるのは「人のつながり」だということを学んだ。

私たちは「当たり前が当たり前じゃないから、感謝の気持ちをもて」と言われてもピンと来ないが、体験してきた小堀さんの言葉がすごく心に響いた。ウガンダの女の子がポショ豆を食べられるだけで幸せだという言葉はきっと忘れない。

今までは、「助けてあげたい」「救いたい」というように思っていました。しかし、この講座を受けて、それは違うということ学びました。日本の全てを批判するわけではないけれど、何か道を間違えていないかな、と思いました。

逆にアフリカに行くことによって、日本を助けることができたらと思います。「本当の幸せ」とは何なのかを、一生かけて見つけたいです。



【Bコースの感想より】

何が、その人・その土地のためになるのかを考えたことは、他人のことを思いやることができたり、気付く力を身につけることができるのだとわかった。そういった点で海外へ行くことは、言語を身につけるだけではないのだと改めて気付くことができた。

最後のまとめの「正解なんてない。最適解を探れ!」という言葉は、この時だけでなく、あらゆる場面に直面した時に役立つので、とてもよい機会をいただいたなと思った

国連など国や政治の立場からではなく、国民と同じ目線に立つことで、小さな幸せや住民にとって一番大切なものなど様々なことに気付くことができるんだと思った。

Bコース 七條孝司さん

(青年海外協力隊/村落開発/ルワンダ)



講義メモ

□ルワンダの現在の認識

インターネットで「ルワンダ」と検索すると、かつての紛争の様子など、暗いルワンダの姿が伝わってくるが、現地は治安も良く、住民の生活は穏やか。

□村落開発員となったきっかけ

現地調査を行う中で、多くの井戸が壊れており、住民たちの飲料水の衛生状況が非常に悪いことに気づき、井戸を直すことを決意。

◆最後に…

井戸を直すことを教えるのがゴールではなく、永続的に井戸を使えるようにするために、「ルワンダ人がルワンダ人に井戸修理を教える」のが本当のゴール。これからの支援のあり方をきちんと考える必要がある。

JICA 北陸支部長 仁田知樹さんに特別講演をしていただきました!!

6月6日(月)7限目に3年生に向け、「世にもユニークな国・ブータン～幸せの国に学ぶ～」と題した特別講演会を行いました。講師の仁田さんは2009年からJICAブータン事務所の所長として、約3年半ブータンで活動しておられました。その時の経験を踏まえた魅力溢れるお話で興味関心を引きつけ、生徒達は素敵な50分間を過ごすことができましたようです。今回のお話を受けて、感じたこと考えたこと等を基に、3年生は今後「JICAエッセイコンテスト」に向けたエッセイを書き始めます。

講義メモ

□ブータンと日本

2011年の国王・王妃両陛下が来日によって、日本にブータンブームが到来。東日本大震災の被災地へも慰問していただき、被災者へ直接優しい言葉をかけていただいた。

□ブータンの諸事情

ブータンの国土は九州とほぼ同じで、人口は島根県とほぼ同じ程度の「小さな国」である。国民1人当たりの年間所得は、約20万円。

□ブータンの憲法

ブータン王国憲法には、「医療と教育は無料」、「森林面積を国土面積の6割以下にはしない」、「王様は65歳で定年」、「議会は王様の罷免権を持つ」などと定められている。

□幸福度を重要視するブータン

「GNH (Gross National Happiness : 国民総幸福) は、GNP (国民総生産) より大切である。」と1976年に第4代国王がその方針を明言した。

★「足る」を知り、笑顔を大切にしよう!!



お知らせ!!

3年生が応募するエッセイコンテストに挑戦してみませんか?

エッセイ募集!!

「JICA エッセイコンテスト 2016」

募集テーマ「未来の地球のために～私たち一人一人にできること～」

3年生が全員で応募するエッセイコンテストですが、自分の思いの丈を綴るものがエッセイなので1・2年生も全く臆することはありません。書く材料は、普段ニュースなどを見て考えていること、将来のこと等何でもOK!!

※挑戦したい・詳しく知りたいという人は、SGH推進室まで来て下さい。

6月25日(土)・26日(日) 両日とも10:00～16:00

金沢国際交流まつり 2016

～JICA北陸と石川県青年海外協力隊OB会がブース出展!～

北陸最大の国際交流イベント「国際交流まつり2016」は、世界の料理が味わえるブースや、世界の民芸品・雑貨の販売、ダンスや演奏などが楽しめるステージなど多彩な外国文化に触れられるイベントです。

詳しくは「しいのき迎賓館 イベント」で検索!!

※申し込みなどは必要ありません。

